



香川県防災士会 会報



第 22 2016.1

新年あけましておめでとうございます。

年末年始いかが過ぎされましたか？お天道様の元で元気に散歩？それともコタツで・・・

暖冬と言われている今シーズン、助かるのは電気代と野菜にかかる食費。けれど、動植物にとつたら？？な冬になっているみたいですね。大雪・大雨、何事もほどほどであってほしいです。

さて、年始の「干支ばなし」

今年は【丙申（ひのえさる）】60個中33番目になります。

「丙」は火を表す漢字で、「申」は樹木の果実が熟して固まる・伸びるという意味があるそうです。この二つが合わさると「物事が大きく発展し、成熟する年」になるそうで、前回の1956年には「もはや戦後ではない」という言葉が流行した年でした。(リアルタイムで聞いた訳ではないですが…)ちなみに、申年の方は、ポジティブでその人がいると場の雰囲気明るくなるとか。。。年男・年女のあなた、周りの人をどんどん巻き込んで、楽しく活動していきましょう！

香川県防災士会も【丙申】の様に発展する年になる事を願います♪

♪今回は、会長挨拶、報告6件です♪

【香川県防災士会会長：久保 雅和】

新年あけましておめでとうございます。

香川県防災士会は平成19年8月に13名で発足して以来、毎年50余名の新会員があり平成27年末で254名もの会員となりました。防災士会も発足当時は啓蒙・啓発活動が主体となっていました。現在7支部、4部会、3つの専門部会等、体制も整い、活発な活動により地域に根差した活動や、行政各種団体との連携も整いつつある支部もあります。今年は防災士会本来の目標である「事前の対策により災害を8割軽減」を目的に新たに「地区防災計画」を柱として取り組んでいきます。次年度に向けては、初めて四国地方整備局より土器川総合水防演習への参加要請があり、避難訓練として小学生を避難所まで誘導と、傷病者に対する市民トリアージを担当することになりました。(詳細につきましては、決まり次第お知らせいたします)

防災士養成講座補助金もこれまで同様、県、市・町からも支援が得られています。一方、三豊市、東かがわ市では独自で防災士養成講座を開催し3年間で100名の養成をしています。これらの市と高松市を含めた防災士の問題が課題となっています。東かがわ市では、各市養成防災士のスキルアップ研修を香川県防災士会が育成する協定が市と結ばれようとしています。

また、香川大学防災士養成講座では、一般募集は定員120名が募集当日で定員をオーバーする盛況ぶり。大学1年生対象の講座では、全学部から180名を超える学生が受講しています。また、2年次の希望者(学生)を対象にネクストプログラムが開講されており、実際に訓練を取り入れた授業が行われています。

今年度も引き続き香川県教育委員会の依頼を受けた学校防災アドバイザー派遣事業(昨年度21校)、土器川大規模水害検討会WS、四国行政評価支局の「一日行政相談」、各支部の各地でHUG、ため池決壊DIG、各地域での防災マップ作成や、防災訓練等に参加しました。また、これとは別に善通寺東部校区では1年生から6年生までの各クラスに防災士を派遣し先生と一緒に授業、地域との防災訓練等を実施。

このような状況の中、一層防災士の知識・技術の向上が求められています。昨年は会員のスキルアップで「動く防災士」「頼りにされる防災士」を目指し、「ため池決壊ハザードマップ作成」の指導者養成研修を実施した他、気象台との連携・研修、講演会、担架作成・搬送訓練、三角巾訓練等の学習や実地訓練のスキルアップ研修を実施しました。

行政機関等との連携については総務省四国行政支局、高松地方気象台、国土交通省四国地方整備局、香川県教育委員会、香川県・高松市・坂出市・丸亀市・善通寺市・東かがわ市とは情報の共有化と継続を図っています。また、報道機関から各会員に要請が来るようになりました。今年も県民の期待に応えられるよう減災に向けて防災士として「動く防災士」「頼りにされる防災士」を目指し知識、技術の向上を目指しスキルアップ研修を計画、実施し、一層の会員の知識、技術の向上を図ります。

今年もすでに多くの事業が予定されています。防災士会はボランティアとして県民の減災を目的に活動していますが、会員にも現職の方や働いている方も多いのが現状です。「気楽に、気長く、根気よく」を合言葉に焦らずに出席できる時に参加をお願いします。各支部内での連絡や県防災士会との連携を密にして、経験を重ね各自のスキルアップをお願いします。本年度も会員皆様の地域に根差した減災に向けての活動をよろしくをお願いします。

<一日行政相談> 【副会長：多田 邦夫】

10月15日丸亀町三丁ドームで行われた一日行政相談に、与田防災士と防災相談の担当で参加しました。防災相談は他の行政相談と違い、身近な問題とかけ離れていると解釈されているのか相談件数が5件と少なかったが、自主防災組織に関する相談が多かった。

1件は団地の自治会が予算不足のため解散してしまい、それに伴い自主防災組織も自然消滅してしまった。当該団地は海岸近くの埋立地であり、津波、液状化等大規模震災時には様々な被害が想定されるのに自主防災組織がないため避難場所その他において大変不安である。もう1件は沿岸部の分譲マンションに住んでいるが、先日マンション住民総会において近隣の自主防災組織に加入する議案が否決され、自主防災組織に加入できなかった。マンションは地下部に重要電気設備等があり津浪や浸水被害に対して脆弱な部分がある。一方、沿岸部にある当マンションは高層建物であるため洪水、浸水被害等に対して有益な避難場所であり、自主防災組織加入は双方にとって大変メリットがあると解釈できるのに大変残念である。2件とも自主防災組織と関連する問題なので、高松市が自主防災組織カバー率100%にするための地区別包括組織について説明し、それぞれの地域の自主防災組織に加盟できる制度になっていることを理解してもらい、それぞれの地区の自主防災組織に出向き相談するような方法についてアドバイスした。いずれも大切な問題であるが、こういった問題意識を持っている人が少なく、まだまだ災害に対して自分自身や自分の家族の問題であるという認識に乏しいことを改めて感じました。防災士会としても地域の自主防災組織を通じて地域にこういった問題提起をしていくことも大きな課題の一つであると改めて感じました。



<日本防災士会スキルアップ研修>

【会長：久保 雅和】

四国で初めて香川県で日本防災士会主催のスキルアップ研修が下記、講師を迎え開催されたので報告します。

日時：平成27年10月24日(土)13時30分～16時45分

会場：四国電力総合研修所3階302研修所

講師：岩野 祥子 (京都大学大学院・理学博士)

講師：橋本 茂 (日本防災士会常務理事)

当日は四国・中国各地の防災士と県内の会員約50名が研修会に参加。岩野氏の「南極女子防災を語る」では彼女自身の2度の南極越冬隊員(女性として初)の体験を基に地球環境の課題、サバイ



バル術、今なぜ地球のできたときから現代までの時間、自然に対する人間の傲慢さや温暖化への対策、東日本大震災活動を通じての経験から「女性の視点による防災対策」。私的には防災の原点、環境問題を考えて今、奈良の田舎に居住を構えていること等を講演された。少し難解なものも見られたが参加者は真剣に聴講していた。

橋本氏の「女性の視点から防災対策／地区防災計画作成の手順」

女性の視点から見た避難所対策から始まり男女共同参画、避難所支援で重視すべきこと、女性のへ配慮、乳幼児を抱えた家庭防災の在り方、これらを踏まえた顕在化した主な課題と日本防災士会が今後真剣に取り組む「地区防災計画」の解説と取組の素案を講演された。

香川県防災士会もすでに1か所で取り組んでおり、2か所で現在進行中であることから今後平成28年度の活動の柱として取り組んでいくことを役員会で決定しています。

当日は県内会員の参加者に時間を間違えて30分遅く連絡していたことや資料不足で参加者や本部にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

＜獅子たちの里 三木まんで願＞ 【東讃支部：香西 廣信】

平成27年10月24日(土)三木町交流プラザ・ベルシティー各駐車場テント約100張り(イベントブース；豊年満作ゾーン・ふれあいキッズ・あばれステージ)、大小獅子連35連が乱舞。このイベントの1ブースに香川県防災士会東讃支部林支部長ほか9名が参加した。

【実施内容】

1. パネル展示

洪水・ため池ハザードマップ、土砂災害警戒区域概要図、危険箇所概要図
小菘地区土砂災害ハザードマップの詳細図

2. チラシとパンフレット

家具転倒防止金具全戸に支給事業、自主防災について、シェイクアウトについて
日本防災士会パンフレット、地震発生そのとき(南海トラフ地震のDVD放映)

3. 活動

- ① 防災相談 5人
- ② 防災クイズ 38人
- ③ 防災についてのアンケート 22人

※①または②について回答、アンケート提出者に記念品

凧、風船で作った大型の獅子・腕輪、ストローで作ったエビ(山下防災士)、陶器製無事カエル(藤原防災士)町内、近隣市町の親子らたくさんの方が参加し、また獅子がしら(風船で作成)の前で親子連れが記念写真を撮ったり、記念品をもらって大喜びしていました。

17時には防災士会の前で獅子連のステージがあり、早々に終了して獅子連の演舞を見学。大獅子・子獅子の乱舞はベルシティーの駐車場に移動、21時前には花火大会で獅子たちの里、三木まんで願がすべて終了した。



<高松市林小学校区防災訓練>

AED 体験 【カレッジ部会：松原 龍】



11月15日に開催された林地区防災訓練に、救命講習の指導員として参加しました。指導内容としては、一般的な救急救命の流れを消防団の方が例示した後に、6か所に分かれたブースで講習を行うといった内容でした。初めの30分は林地区の方々が分団ごとにブースに分かれての講習だったこともあり、参加人数が多く30分で終わらなかったブースも見受けられました。参加者も私が担当したブースだけかもしれませんが、積極的に

講習を受けようという人数が少ないように感じ、そういった人を引き付けられるような指導の仕方の難しさを改めて感じました。後半30分は参加が自由であったこともあり、講習を受けに来られた方々は興味を持っており、かつ少人数だったこともあってか、こちらの説明を熱心に聞き、受け答えもきちんと返してくれていました。そのおかげで理解度に合わせて講習を行時間内に収めることが容易にできました。全体を通しては、30分という時間では一通り説明するだけで終わるので、相手の理解度に合わせて30分の講習を行うなら少人数が適していると感じました。

避難所体験 【カレッジ部会：近藤 智】



避難所内での訓練では、段ボールを用いたベッドを展示し訓練参加者に体験していただきました。多くの方が「思っていた以上に居心地が良かった」とおっしゃっており訓練における体験することの重要性についても学ばされました。また、段ボールでの工夫は千万無量です。訓練参加者の方々と話をしていくと多くの方が訓練内容に関連する知識を求めていることに気づきました。中には質問されたことに対してわからないこと

もあり、求められたことについて正しい情報を提供するためにもより多くの知識と経験が必要不可欠であると実感しました。今後とも様々な訓練を通して参加者と共により多くの知識、経験を積んでいきたいと考えています。

<多度津小学校母親クラブ防災研修> 【女性部会：二宮 久美子】

平成 27 年 11 月 28 日 (土) 参加人数 19 名母親・父親 1 名・三木校長先生

- ①ハイゼックスを使ってサラ飯を作ろう。
- ②母親視点から家庭の防災について考えよう。

母親視点ということから、乾物を使ってバランス栄養を考えひじき、乾燥青菜と高野豆腐と松茸のお吸い物をいれた炊き込みご飯と、一合用炊き込みご飯の基を入れて試食飯を作りました。参加者の皆さんは、カレー、ハヤシライス、ふりかけ、さば缶など家庭の非常食を持参してハイゼックスで白飯を作りました。

非常食ということで、水の使用も最小限に抑え、ハイゼックスの中でもみ洗いをした後、すすぎをするという方法で白米を炊きました。

炊き上がる間、子どもたちの視点や理解について話し合いながら一般的な防災意識アンケートや災害が起こる前、起こった時の想定の中、身の安全第一に被害を最小限に抑えることが必要であり、日頃から事象にアンテナを張ってことあるごとに家族で話し合うことが大切であることを話しました。災害に遭うかもしれないと思っても非常持ち出し品や備蓄品、家具や家電への認識は一般的に低いことを踏まえ、常に防災意識をすることによって災害に素早く対処できると思うと伝えてきました。

<三豊市防災士会 HUG 研修> 【西讃支部：関子 幸男】

平成 27 年 11 月 29 日香川県防災士会の指導により三豊市防災士会の会員が、HUG を行いました。三豊市防災士会は三豊市の防災及び減災を担う地域防災リーダー育成のため、平成 25 年度より 3 年計画で 150 名を養成し、この 2 月会員の交流拠点として会を設立しました。市内の老若男女の集まりですが、防災と言う目的のためこれまでも技能研さんを行ってきましたが、今回は久保会長指導の下、初めての HUG を体験しました。地域はこれまで幸いにも大きな災害に遭ったことがないため、避難所の体験はありませんが、資格取得時の知識などで会員はリーダーとともに楽しく、活発に意見を交わし悩み思考して HUG を行いました。中には学校の先生もいて防災士でなく先生の立場で議論をおこなった班もありいろんな意見ができました。避難所の受付、掲示板、区画などのルールから始まり、ゲームが進むにつれ受付名簿の作り方、動物の取り扱い、身障者用トイレの配置などさまざまな問題、悩みが分かり有意義な体験ができたこと好評の中で終わることができました。他にも、避難所で死者が出た場合の対応、受付名簿に動物アレルギーの記載欄が必要ではないか、外国人の扱い方(会話が困難)、運動場のレイアウトの重要性、運営マニュアルや関係者間の協議の必要性会員には、自治会やサークルの中で HUG の出来事を提供して、それで校区などで住民と一っしょに HUG ができればいいのにと話していましたが、現実に向け三豊市防災士会頑張っていきますので、今後もよろしくお願ひします。

今後の行事予定

- | | |
|----------|------------------------|
| 1月23日 | 平成27年度災害ボランティアセンター運営訓練 |
| 2月6日 | さぬき市社会福祉協議会 HUG 研修 |
| 2月13日 | 防災気象講演会 |
| 3月11～12日 | 防災とボランティアのつどい |
| 4月30日 | 平成28年度香川県防災士会総会 |
| 5月22日 | 平成28年度土器川総合水防演習 |

【香川県防災士会へのお問い合わせ】

kagawa-bousaishi@hotmail.co.jp

※上記「あ」を「@ (半角)」に修正してください※